

池田勝彦教授ご退職に際して

春の訪れとともに、残念ながら今年もまた当学部では、永年教育・研究に携わってこられた先生方をお送りしなければならない時期となりました。

池田勝彦教授は、2000年（平成12年）3月31日をもって関西学院大学を退職されます。教授は1955年（昭和30年）神戸大学経済学部をご卒業され、1961年（昭和36年）同大学大学院経済学研究科博士課程を修了されました。同年4月に本学の助手に就任されて以来、今日に至るまで39年の永年にわたって商学部での教育・研究と行政に力を尽くされ、その功績には大きいものがあります。

教授はその永い教育活動を通して多くの卒業生を実業界に送り込まれ、現在その方がたは第一線で活躍されています。また教授の研究は主要著書だけで六冊を数え、先ず最初に博士論文『経済成長論』において、有機的成長論の理論構造を確立されています。その後世界的規模で産業の実態を分析され、英国を中心とする産業構造の変革、日米における産業構造変化の比較、さらに東南アジア諸国の産業組織にも目を向けられ、1999年に研究の総まとめとして『アジア太平洋発展の経済思想』を公刊されています。このようにご就任以来一貫して産業組織の研究に従事され、著名な研究者として国際的にも名を留められました。

さらにこれらの教育・研究に加えて、行政面でも商学部教務副主任（70－71年）、学生主任（75－76年）、商学研究科教務学生委員（84

—86年)等を歴任され、多大な貢献をしていただきました。

池田勝彦教授のご退職にあたり、商学部に対する永年にわたるご貢献を称え、深い感謝の意を表すために、ここに記念号を発刊できることは大きな喜びであります。

終わりにあたり、この記念論集の刊行に際して、ご執筆をいただいた先生方、そして記念号の編集にご努力いただいた論究委員会の先生方に心からお礼を申し上げます。

2000年3月

商学部長 今 井 讓